

保護者の皆さまへ

札幌市立本通小学校  
校長 豊川正文

## 平成30年度 全国学力・学習状況調査 本校の状況について

初霜の候、保護者の皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、4月に実施されました『平成30年度全国学力・学習状況調査』（6年生）における本校の状況についてお知らせいたします。札幌市では、札幌市全体の児童の学習状況を把握し、それを各学校における指導法などの工夫改善に生かすことを目的として、本調査に参加しています。本校でも、本調査結果を参考にし、これからの学習に生かしていきたいと考えています。

なお、実施教科は、国語・算数・理科の3教科であり、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものではありません。また、本調査の結果については、学校における教育活動の一側面であることにご留意ください。

### 【小学校国語】

#### 本校の概要

##### 【区分及び領域】

##### 主として「知識」に関する問題(A)

##### 「話すこと・聞くこと」

▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

##### 「書くこと」

▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている。

##### 「読むこと」

▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

##### 「言語事項」

▼全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。

##### 主として「活用」に関する問題(B)

##### 「話すこと・聞くこと」

▼全国平均より下回っている。

##### 「書くこと」

▼全国平均より下回っている。

##### 「読むこと」

▼全国平均より下回っている。

#### 今回の調査における課題

●登場人物の心情について、情景描写を基に捉える。

●相手や場面に応じて適切に敬語を使う。

●学年別漢字配当表に示されている漢字を文中で正しく使う。

●話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる。

●目的に応じて、文章全体の構成の効果を考える。複数の本や文章などを選んで読む。

●目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

#### 改善の方向

○物語を読んだ感想や取り上げた叙述について、互いの考えの共通点や相違点を明らかにしながら交流し、自分の考えを広げたり深めたりできるようにする指導の充実。

○日常生活や目上の人との対応の仕方の指導。道徳や学級活動での挨拶の指導の充実。

○漢字練習の繰り返し、作文や文章表現などで習った漢字を使うなどの指導。家庭学習での漢字練習。

○話し合い活動の充実、日頃から他者の意見を自分の意見と比べて考えをもつ経験を積ませる。

○目的に応じて文章を書く、文章の構成を考えて書く指導の充実。

○日頃から文章の内容を自分の考えをもち、考えを明確にして読む指導の充実。

# 【小学校算数】

## 本校の概要

### 【区分及び領域】

主として「知識」に関する問題(A)

#### 「数と計算」

▼全国平均より下回っている。

#### 「量と測定」

▼全国平均より下回っている。

#### 「図形」

▼全国平均より下回っている。

#### 「数量関係」

▼全国平均より下回っている。

主として「活用」に関する問題(B)

#### 「数と計算」

▼全国平均と同程度だがやや下回っている。

#### 「量と測定」

▼全国平均と同程度だがやや下回っている。

#### 「図形」

▼全国平均より下回っている。

#### 「数量関係」

▼全国平均と同程度だがやや下回っている。

## 今回の調査における課題

- 1に当たる大きさを求める問題では、除数が小数である場合でも除法を用いることを理解している。
- $180^\circ$  や  $360^\circ$  を基に分度器を用いて、 $180^\circ$  よりも大きい角の大きさを求めることができる。
- 円周率の意味について理解している。直径の長さと同周の長さの関係について理解している。
- 図形の構成要素や性質を基に、集まった角の大きさの和が  $360^\circ$  になっていることを記述できる。
- 棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断することが出来る。
- 示された考えを解釈し、条件を変更して数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる。表現方法を適用して記述できる。
- 折り紙の枚数が100枚あれば足りる理由を、示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる。

## 改善の方向

- 小数の除法の意味を捉える指導の充実。
- 分度器等器具の適切な使用に係る指導の充実。
- 直径と同周の長さの関係を理解する指導の充実。
- 作図する活動を通して図形の構成や図形の性質を理解したり、角の大きさの和を理解したりする指導の充実。
- 棒グラフと帯グラフの読み取りの指導。
- 条件により数量の関係を考察する、分配法則の式の表現方法の理解の指導の充実。
- 数学的な考え方を問われる問題や記述問題の指導の充実。

# 【小学校理科】

小学校  
理科

## 本校の概要

【領域】

「物質」

▼全国平均より下回っている。

「エネルギー」

▼全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

「生命」

▼全国平均とほぼ同程度であるがやや下回っている。

「地球」

▼全国平均より下回っている。

## 今回の調査における課題

- より妥当な考えをつくりだすために、実験結果を基に分析して考察し、その内容を記述できる。
- 乾電池のつなぎ方を変えると電流の向きが変わることを実際の回路に適用できる。
- 物を水に溶かしても全体の重さは変わらないことを食塩を溶かして体積が増えた食塩水に適用できる。
- 実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述できる。
- 安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想できる。
- 堆積作用について科学的な言葉や概念を理解している。

## 改善の方向

○観察・実験を行う際の予想⇒考察⇒結果の記述や発表、考察を繰り返し練習する。  
また、的確な観察・実験方法を習得する。

○ノートを丁寧に、的確にとることにより、知識の確実な習得と理科に対する興味関心をもたせる。

○生物愛護の態度をもてるよう生き物を飼育したり観察したりする指導の充実。

○「地球」を中心とした自然に興味をもたせ、確実な知識を獲得させる。

★記述を苦手に行っている子が多いことから、国語を中心とした他教科のレベルアップが大切と考える。



## 平成30年度 全国学力・学習状況調査質問紙調査から

- 「将来の夢や目標を持っていますか。」という設問では、「あてはまる」が63%、「どちらかといえばあてはまる」を合わせると88.9%と高い傾向にある。
- 「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」という設問では、86.5%が「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答し、高い割合を示した。
- 「理科の勉強は好きですか。」の設問では、「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」が85.2%と高い傾向にある。
- △「家で学校の宿題をしていますか。」では「している」「どちらかといえばしている」を合わせた割合が90.1%と高い。しかし、自学自習や予習・復習についての設問では数値が低い傾向があり、宿題以外の学習に取り組んでいる子は少ない。
- 「自分にはよいところがある。」という設問では、「あてはまる」が25.9%と低い傾向にあり、「どちらかというにあてはまる」という回答が35.8%、「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」を合わせて38.3%となっている。

これらの2項目は、全国的には肯定的な回答の割合が上昇傾向にあるが、本校ではまだ低い傾向がみられる。普段から、子どもたちの取組のよさや頑張りを褒めるなど「自尊感情」や「自己肯定感」を高める関わりが必要である。

- 「週末に何をすることが多いですか。」の設問では、「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている。」が92.6%。「家族と過ごしている。」が81.5%。「友達と遊んでいる。」が65.4%であり、「放課後に何をすることが多いですか。」の設問に対しても「家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている。」が90.1%であった。帰ってからのほとんどの時間をテレビやゲーム、インターネットに費やしている状況は改善していく必要がある。



学校では今回の調査の分析から得られた成果や課題に対して、「改善の方向」に沿って、今後の教育活動を展開していきます。ご家庭でも、家庭学習や生活習慣について、改めてご指導くださいますようお願いいたします。